款 1 議会費	項 1	議会費	目:	1 議会費	
事務事業名	議会運営		•		
決 算 額 (円)		財 源	内 訳	(円)	
75, 852, 494	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
(うち人件費 70,839,480)					75, 852, 494
事 業 目 的					

議決機関である議会の運営を円滑に推進するとともに、議会活動を市民に情報公開する。

事業内容及び成果

1 本会議の状況

区分	回数	会期日数			出席延	出席率	会議時間数	対前年比	傍 聴	
		会議	休日	休会	計	議員数	四加十	五贼的间数	7) b) - 20	延人数
定例会	4回	16日	15日	19日	50日	192人	100.0%	43時間31分	6時間41分	54人
臨時会	5回	5日	0日	0日	5日	59人	98.3%	3時間13分	△2時間49分	4人
計	9回	21日	15日	19日	55日	251人	100.0%	46時間44分	3時間52分	58人

2 委員会の状況

区分		常任委員会							
	総務	社会産業	計	委 員 会					
委員定数	6人	6人	12人	4人					
開議日数	20日	12日	32日	18日					
出席延人数	120人	71人	191人	72人					
出席率	100.0%	98.6%	99.5%	100.0%					
会議時間数	31時間12分	23時間27分	54時間39分	6時間34分					

決算審査	予算審査	議会改革	行財政改革調査	新総合庁舎整備	# 	合 計	対前年比
11人	11人	6人	6人	12人			
3日	4日	5日	1日	0日	13日	63日	△2日
33人	44人	29人	6人	0人	112人	375人	△39人
100.0%	100.0%	96.7%	100.0%	_	99.1%	99.5%	0.2%
12時間17分	13時間30分	6時間05分	1時間20分	0時間00分	33時間12分	94時間25分	10時間38分

次頁へ続く

3 議案等の審議状況

					提	出	事	牛 数	•			
			市	長				議		会		計
区分	条	予	決	専	その	小	条	意	決	その	小	μΙ
	例	算	算	決	他	計	例	意見書	議	他	計	(A)
定例会	28件	34件	4件	1件	10件	77件	1件	15件	1件	1 件	18 件	95 件
臨時会	6件	5件	0件	3件	2件	16件	0件	0 件	0件	7件	7件	23 件
計	34件	39件	4件	4件	12件	93件	1件	15件	1件	8件	25 件	118件

			議	決	事	件	数				1	青願・阿	東情件数	女
市長提出議会援								出			受	審	議結	果
可決	修正	否決	その他	小計	可決	修正	否決	その他	小計	計	理 (B)	採決	不採決	その他
69件	0件	0件	8件	77件	18件	0件	0件	0件	18件	95 件	0件	0件	0 件	0件
12件	0件	0件	4件	16件	2件	0件	0件	5件	7件	23 件	0件	0件	0 件	0件
81件	0件	0件	12件	93件	20件	0件	0件	5件	25件	118 件	0件	0件	0 件	0件

	その他の件数										
選		報	告			質問	l	計	計 (A) + (B)	対 前 年	
挙	市	議	その	小	_	代	小	(C)	+	比	
	長	会	他	計	般	表	計		(C)		
1件	4件	1件	0件	5件	45件	4件	49件	55件	150件	△39 件	
0件	2件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件	25件	△ 4件	
1件	6件	1件	0件	7件	45件	4件	49件	57件	175件	△43 件	

4 市議会周知新聞折込チラシ状況

折込時期	折込枚数	折 込 方 法
5月	5,110枚	定例市議会前日に道新、読売、朝日、毎日新聞の
9月	5,100枚	朝刊(市内全紙)に定例会の開会期間、質問項目
12月	5,100枚	などを知らせるチラシを折込
3月	5,100枚	

5 他議会からの行政視察状況

視察月	件数	視察議会名	調査内容
9月	1 件	旭川市議会(1人)	なまこ山総合運動公園について

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		地方自治法、市議会基本条例、市議会定数条例、市議会定例会条例、市議会委員会条例、市議会会議規則ほか					
1. 必要性 (市が行なわなければな らない理由など)	_ [13	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	市民の負託を受けた議員が、市民福祉の向上と市政発展のため、本会議や委員会などで質疑や討論などを行ってより、これらの活動を支える本事業は必要不可欠である。				
2. 成果 (市民福祉の向上は図ら れたのかなど)	■ 向上し □ 低下し		令和3年9月から本会議及び委員会のインターネット 信を実施したことにより、コロナ禍や時間を気にすること なく、市民が議会を傍聴できるようになった。				
3. 要望 (市民・団体等からの要 望など)	□有■無						
	事務事業の休止・廃止など	□有■無	_				
4. 行財政改革(改善・ 改革等)の取組	コスト縮減など	■有□無	令和元年5月から議員報酬10%削減に取 (令和3年度の削減効果額は、議員報酬 手当1,703千円、議員共済費1,935千円 千円となる。)	4,645 千円、期末			
	他の事業 の統令 で民間 託など	□有■無					
<今後の方向性> 総合判別							
市民に対する情報公開や発信力を高めながら、議会だよりや議会報告会などの充実を図っていく。また、ペーパーレス化については、端末機を用いた「完全ペーパーレス議会」 を検討していく。							